

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2019-002
2.研究課題名	対人関係を構築する会話表現の理解の神経基盤
3.研究期間	2019年8月（倫理審査委員会承認後）～2024年3月31日
4.研究の概要	意義・目的 <p>言葉の役割は情報伝達だけではなく、そこから話し手がどのような感情を経験しているかをも聞き手は察知する。円滑な対人関係を構築するためには、話し言葉を通じた感情認知過程の神経基盤を解明することは不可欠である。本申請課題は、日本語の話し言葉に対する①主観、②行動、③脳機能からの複合的な検討・考察を行い、日本語の対人的・社会的機能を明らかにすることを旨とする。</p> <p>本研究の知見により、言語表現に表れる対人関係の機微を会得するための適切な指針を、話者の個性に応じて提供できることが見込まれる。たとえ微細な言語表現に関する感受性に乏しい話者であっても、その指針を活用して円滑な対人コミュニケーションを実現する一助となることが期待される。</p>
	方法 <p>東北大学等に在籍する健常で右利きの日本語母語話者（20歳～40歳の東北大学に在籍する学生、男女）を対象とし、日本語の言語表現に対する主観、行動、脳機能を測定する。提示される状況での日常的な言葉遣いの理解の神経基盤を解明するために、脳波（electroencephalography: EEG）と磁気共鳴画像法（magnetic resonance imaging: MRI）による計測を行う。また、言語行動に影響する個人の認知特性を把握するための神経心理学的検査を実施する。すべての情報は、連結可能な形で匿名化される。</p> <p>実験参加に対する謝金は、本学の学生への実験協力謝金規定（時給¥900）に基づき、所要時間（主観調査および行動計測は合わせて1時間、脳波およびMRIはそれぞれ3時間を予定）に応じて支払う。</p>
	問い合わせ・苦情等の窓口 <p>東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）</p>